



令和8年4月1日改

2. 黒部市内公共交通の利用状況

(1)【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

- 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行いました。
 実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査
 実施時間：6 時～22 時台（終電到着後一定時間まで）
 調査回数：5 回（令和 6 年度まで 8 回/年）
- 令和 7 年度の乗降人数は全ての調査日で令和 6 年度を上回っており、特に 5 月、8 月の乗降人数が大きく上回っています。増加割合が最も大きかったのは 8 月 9 日の運行であり、およそ 1.4 倍となっています。

調査日	令和 7 年度							R6 同期 乗降人数	乗降人数 対 R6 割合 (R7/R6)	R1 同期 乗降人数	乗降人数 対 R1 割合 (R7/R1)	備考 令和 6 年 度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジネス	降車 人数 (b)	うち ビジネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジネス	ビジネス 割合					
令和 7 年 5 月 3 日 (土・祝)	1, 295	21	1, 818	26	3, 113	47	1. 5%	2, 226	139. 8%	3, 400	91. 6%	令和 6 年 5 月 3 日 (金・祝)
令和 7 年 8 月 9 日 (土)	1, 154	17	1, 677	15	2, 831	32	1. 1%	1, 988	142. 4%	3, 031	93. 4%	令和 6 年 8 月 10 日 (土)
令和 7 年 11 月 2 日 (日)	1, 299	40	1, 385	55	2, 684	95	3. 5%	2, 375	113. 0%	2, 623	102. 3%	令和 6 年 11 月 3 日 (日)
令和 7 年 11 月 13 日 (木)	1, 016	194	1, 017	213	2, 033	407	20. 0%	1, 862	109. 2%	2, 060	98. 7%	令和 6 年 11 月 14 日 (木)
令和 8 年 2 月 8 日 (日)	851	38	848	31	1, 699	69	4. 1%	1, 555	109. 3%	1, 561	108. 8%	令和 7 年 2 月 16 日 (日)

表 黒部宇奈月温泉駅乗降者数（黒部市調べ）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
黒部宇奈月温泉駅 乗車人数	150, 571	230, 329	289, 559	296, 895	320, 411

(出典:JR西日本)

表 黒部宇奈月温泉駅年度別乗車人数推移

(2)【鉄道】 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- あいの風とやま鉄道市内駅の1日平均乗降客数は、平成27年3月の同鉄道開業以降は緩やかな増加傾向にありましたが、新型コロナウイルスの影響から令和2年度は大きく下回り、その後回復傾向にありましたが、令和7年度は横ばいであり平成30年度比94%となっています。
- 令和7年度の1日当たりの乗降客数は、前年度と比較して黒部駅は横ばいであり、生地駅は、微増となっています。
- 生地駅は、新型コロナウイルス感染拡大前までの水準にまで回復しております。

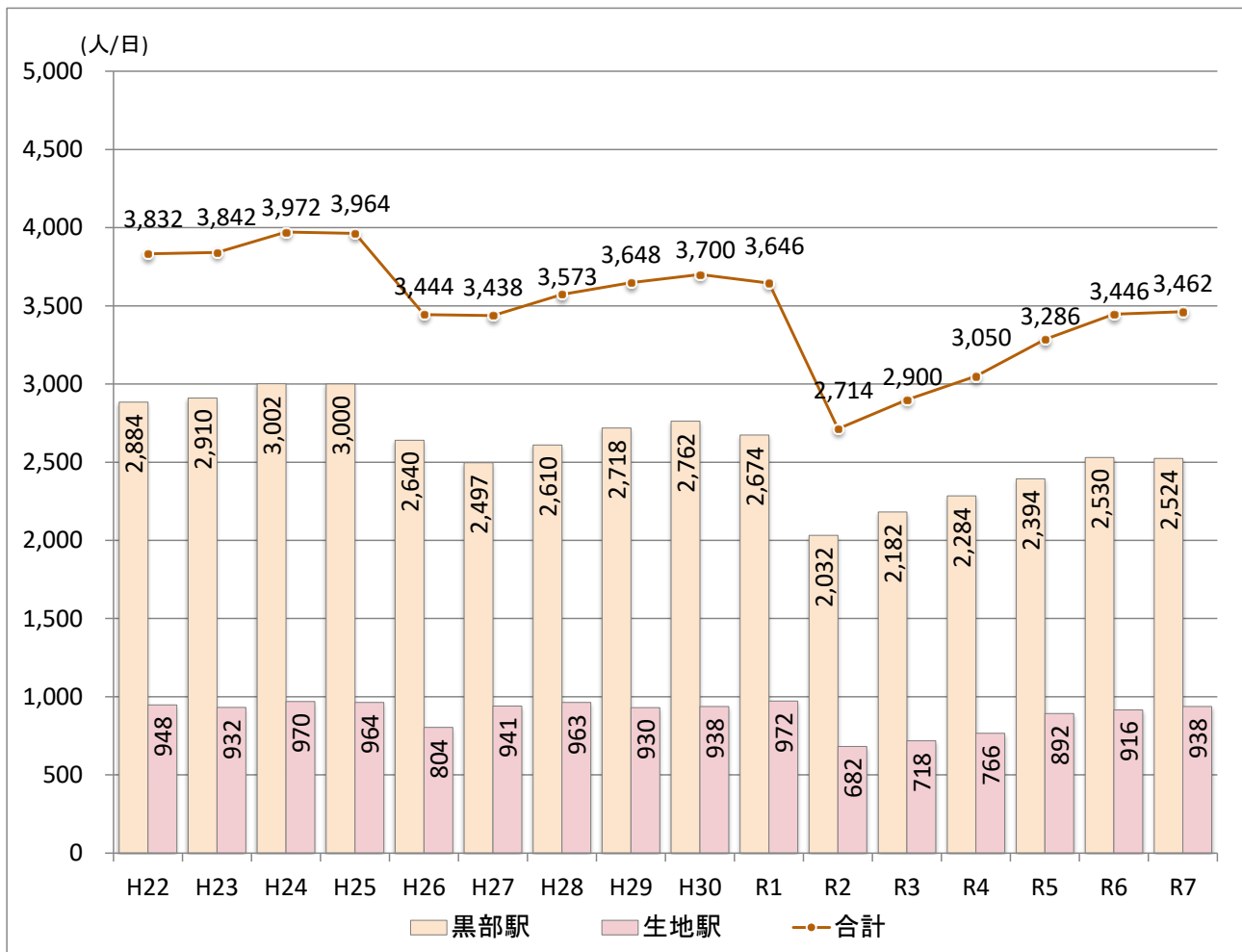


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の1日当たり乗降客数の推移

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
黒部駅	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%	101.6%	96.8%	76.0%	107.4%	104.7%	104.8%	105.7%	99.8%
生地駅	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%	100.9%	103.6%	70.2%	105.3%	106.7%	116.4%	102.7%	102.4%
合計	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%	101.4%	98.5%	74.4%	106.9%	105.2%	107.7%	104.9%	100.5%

(出典:平成26年は平成27年3月13日まではJR西日本、平成27年3月14日以降はあいの風とやま鉄道)
※緑色は前年度比で増加を示しています。

表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の1日当たり乗降客数前年比

(3)【鉄道】富山地方鉄道本線全体の利用状況

- ・ 富山地方鉄道本線全体の 1 日平均乗降客数は、新型コロナウイルスの影響から令和 2 年度に利用者数が大幅に減少しています。
- ・ 令和 3 年度以降は一貫して回復基調にあり、令和 7 年度も前年度から微増し、感染拡大前の 9 割を超える水準まで回復しています。

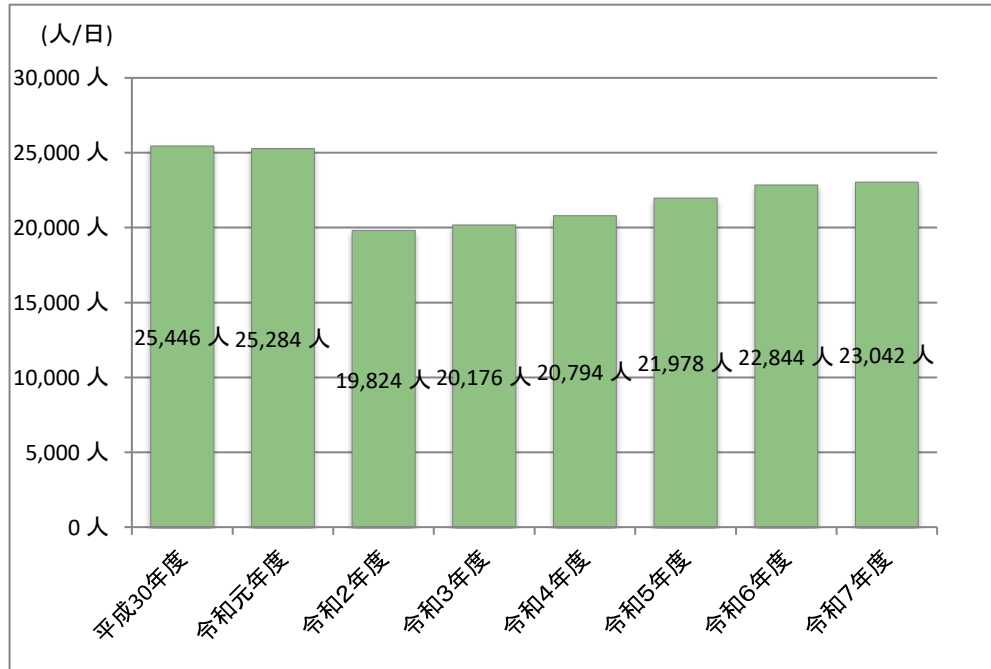


図 富山地方鉄道本線 1 日当たり乗降客数推移 (出典: 富山地方鉄道株式会社)

3. 路線バス事業の全体の利用者数及び収支状況（概要）

（１）路線バス利用者数(全体)

- ・ 路線バス 6 路線と愛本コミュニティタクシー、電動ミニバスの利用者数（全体）は、令和 3 年度から回復傾向となり、令和 5 年度は大幅な増加が見られ、令和 7 年度も増加が続いています。
- ・ 令和 7 年度からスタートした電動ミニバスの利用者数を除いても増加しています。
- ・ デマンドタクシー利用者数（全体）は、令和 4 年度から大幅に利用者数が減少し、令和 6 年度も減少が続いていましたが、令和 7 年度は前年と比較し増加しています。
- ・ デマンドタクシーの利用を地区別に見ると、令和 7 年度は、村椿・大布施、田家地区での利用が多くなっていますが、令和 3 年度に最も利用が多かった前沢地区は、令和 7 年度には最も利用が少ない地区となっています。

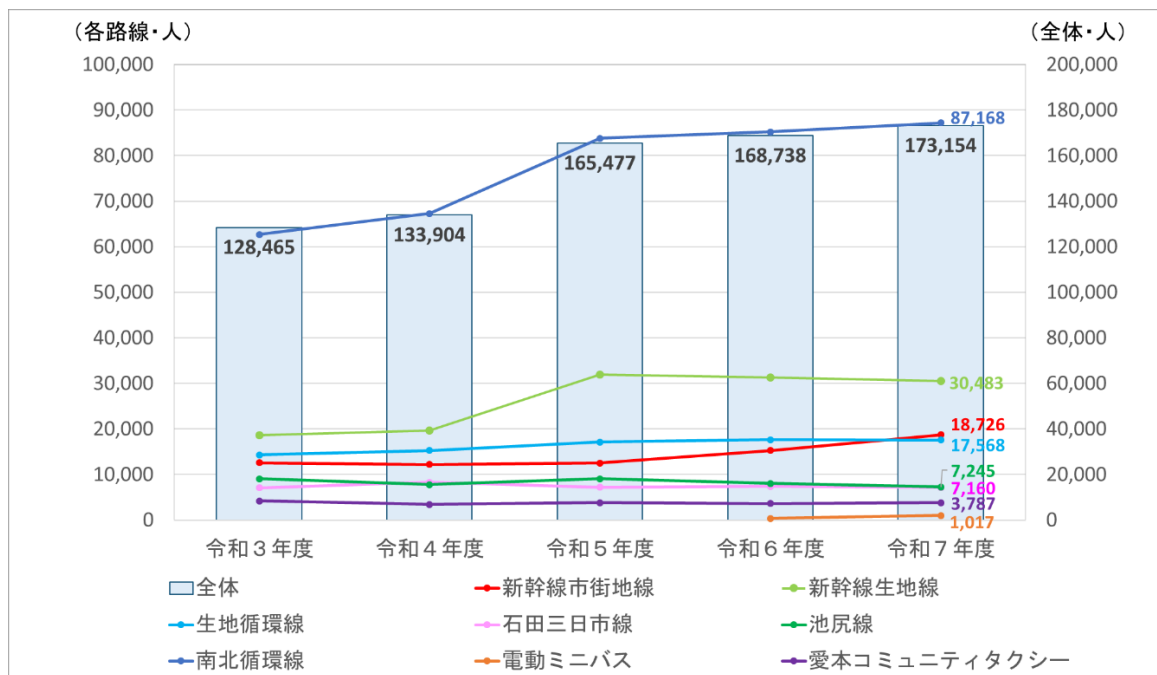


図 路線バス及び愛本コミュニティタクシー利用者数推移

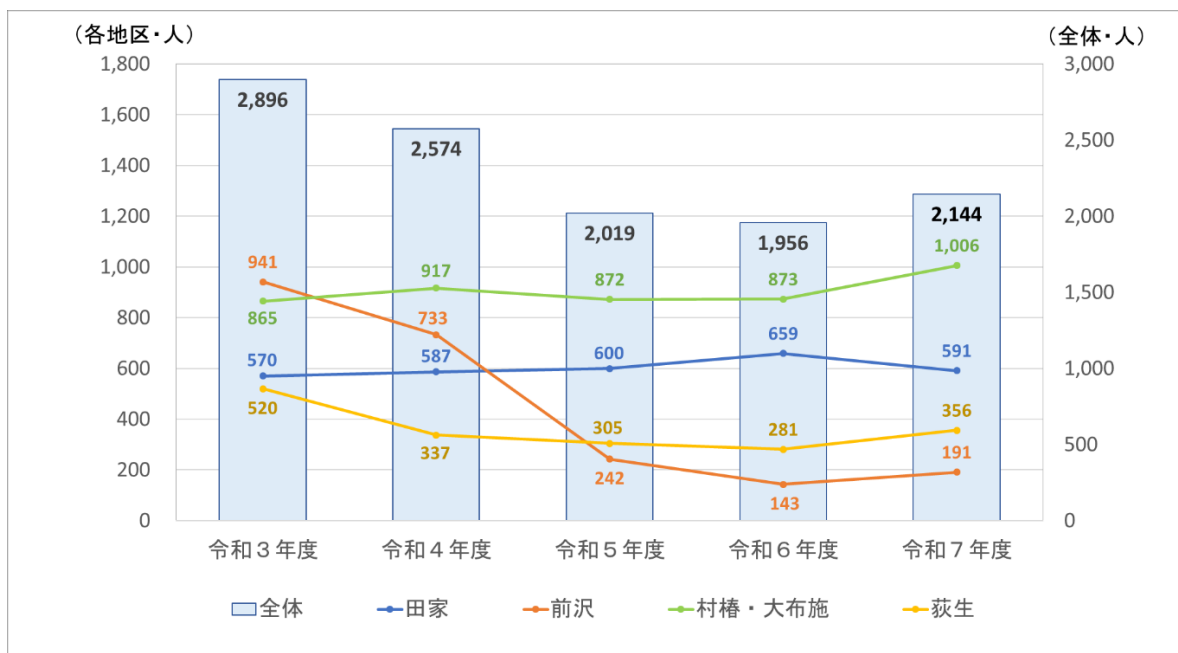


図 デマンドタクシー利用者数推移

(2) 路線バス収支状況(概要)

- ・ 黒部市では、令和 7 年度時点で路線バス(6 路線)、コミュニティ交通(愛本コミュニティタクシー、デマンドタクシー)及び電動ミニバスが運行されています。
- ・ 令和 5 年度に策定した黒部市地域公共交通計画では、公共交通網の持続に向け更なる運行事業の効率化を図る観点から、「事業①-3 路線バス・コミュニティ交通の運行及び利便性向上」を位置付け、「一人当たりの収支(赤字額)」(※)や利用人数、沿線自治会による利用促進等の取組状況を把握しながら、カーボンニュートラルの視点やクロスセクター効果等を考慮しながら評価を行った上で、改善に向けた検討を行うこととしています。また、「目標指標② 公共交通事業の運営効率化」として路線バス全体の利用者一人当たりの財政負担額を現状維持(△866 円/人以下)に努めることとしています。
- ・ **本資料は、路線バスの運行収支を記載していますが、路線ごとに地域公共交通における位置付けや利用形態が異なることから、記載の収支状況をもって、路線の優劣を判断したり、比較したりするものではありません。**

(※)「一人当たりの収支(赤字額)」: (運賃収入－運行経費) ÷ 利用人数

(※)「収支率」: 運行収入 ÷ 運行経費

(3) 路線バス事業の収支状況(全体)

- 路線バス及びコミュニティ交通における令和7年度の一人当たりの収支は△855 円で、令和6年度と比較すると利用者数は増加しているものの、人件費や物価の高騰に伴う運行経費の増加の影響から、収支は悪化しています。
- 令和7年度の運行収支は△141,614 千円で、収支が悪化しています。

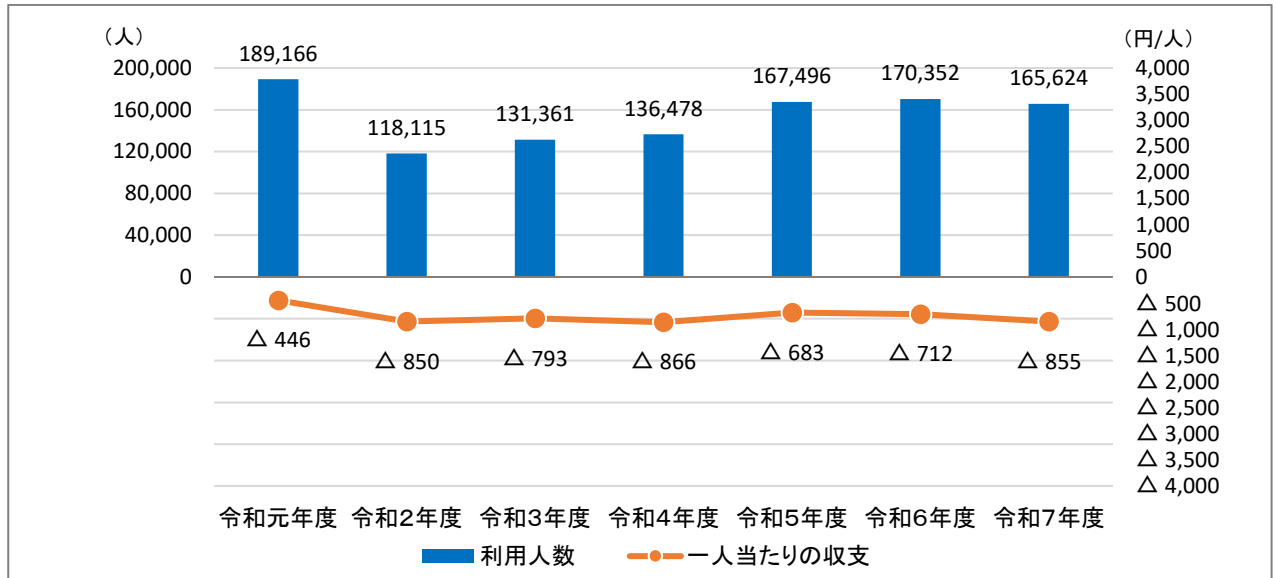


図 路線バス(全体)の利用人数・一人当たりの収支

	運行収入 (単位：千円)	運行経費 (単位：千円)	収支 (単位：千円)	収支率	利用人数 (単位：人)	一人当たりの収支 (単位：円/人)
令和元年度	38,917	123,347	△ 84,430	31.6%	189,166	△ 446
令和2年度	24,593	124,983	△ 100,390	19.7%	118,115	△ 850
令和3年度	26,374	130,522	△ 104,148	20.2%	131,361	△ 793
令和4年度	27,211	145,391	△ 118,180	18.7%	136,478	△ 866
令和5年度	33,480	147,893	△ 114,413	22.6%	167,496	△ 683
令和6年度	34,585	155,903	△ 121,318	22.2%	170,352	△ 712
令和7年度	34,399	176,013	△ 141,614	19.5%	165,624	△ 855

表 路線バス(全体)の収支

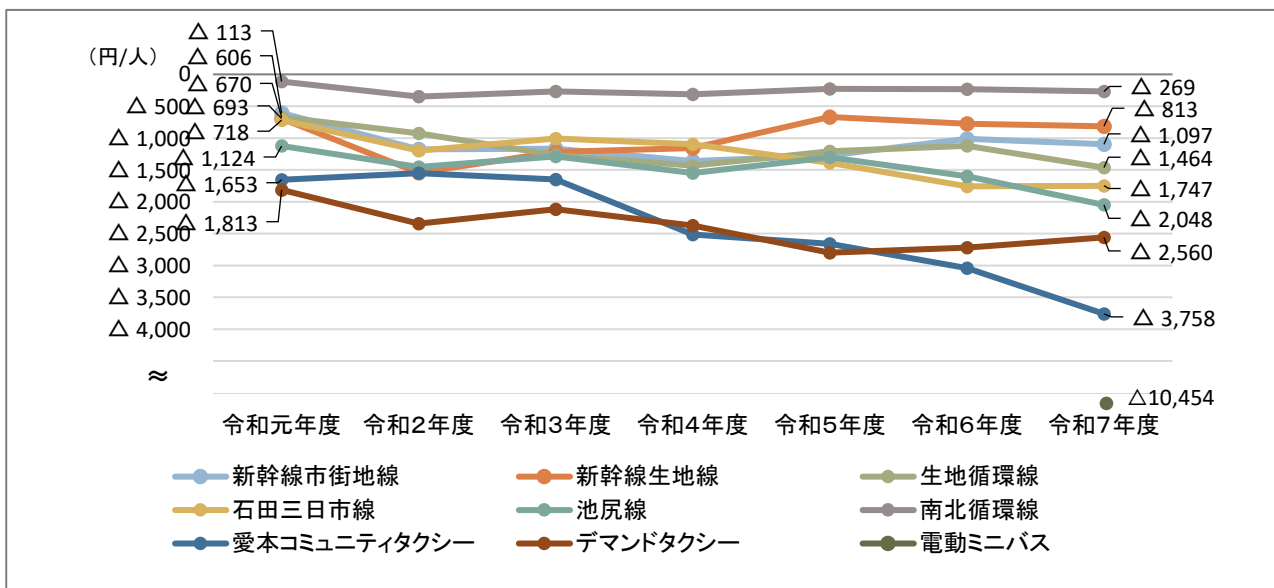


図 路線別一人当たりの収支

(4)【路線バス】新幹線市街地線の利用状況及び収支

○ 新幹線市街地線の位置付け

- ・ あいの風とやま鉄道「黒部駅」を起終点に中心市街地を經由し、北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」への“アクセス路線”として、新幹線のダイヤに合わせ運行しています。新幹線との乗継のほか、経路沿線では通勤、通学、通院、買い物などにも利用できます。
- ・ 令和7年度の利用者数は、令和6年度と比較して大きく増加しています。商業施設へのアクセスのためのバス停の新設とともに、一部区間での循環ルートへの変更、北陸新幹線との乗継を改善するためのダイヤ改定の取組があげられます。
- ・ 令和7年度の一人当たりの収支は△1,097円で、令和6年度と比較すると収支が悪化しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	12,551	12,200	12,533	15,249	18,726
前年対比	118.5%	97.2%	102.7%	121.7%	122.8%
1日平均(人)	34.4	33.4	34.2	41.8	51.3
1便平均(人)	1.3	1.4	1.4	1.7	2.1
一人当収支(円)	△1,168	△1,361	△1,271	△1,011	△1,097

表 新幹線市街地線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

※1日平均の数値は年間利用者数を365日(閏年は366日)で割り返して算出しています。

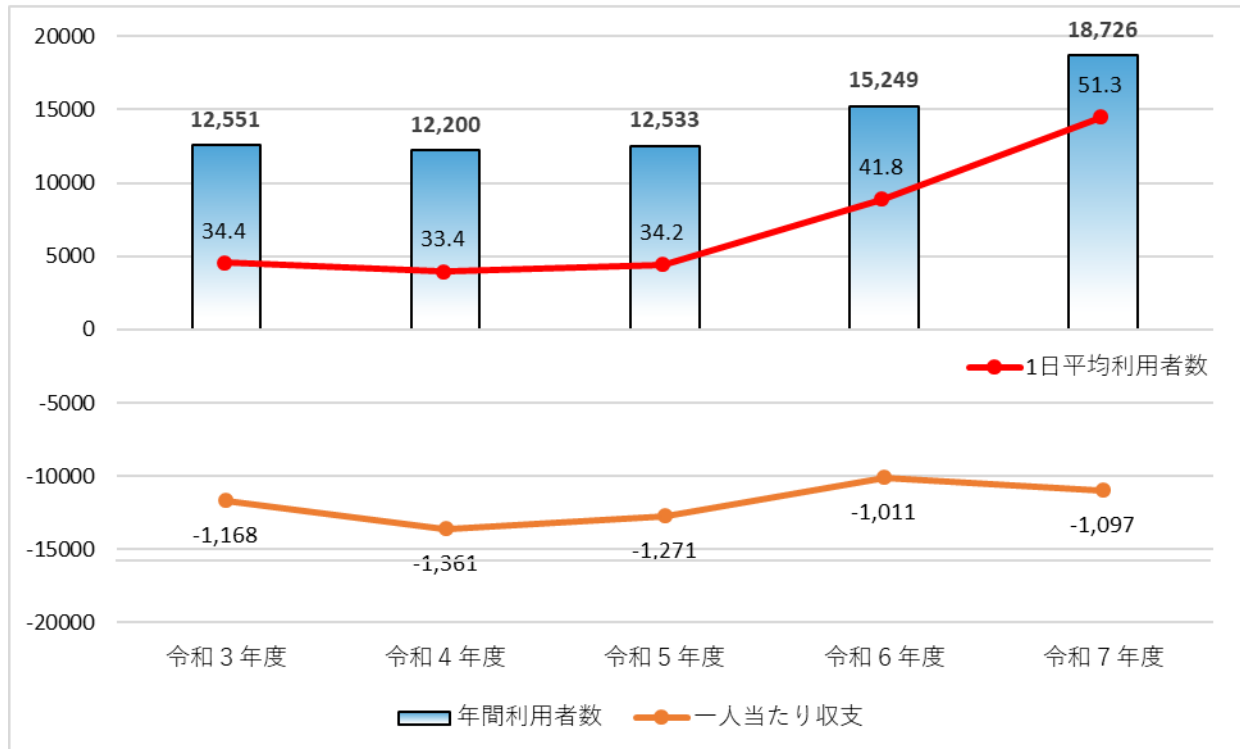


図 新幹線市街地線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(5)【路線バス】新幹線生地線の利用状況及び収支

○ 新幹線生地線の位置付け

- 黒部宇奈月温泉駅、生地駅で鉄道と結節し、魚の駅「生地」、吉田科学館、YKKセンターパーク、YKKの事業所・工場などを結ぶ“観光・ビジネス路線”として運行しています。市域北部を東西に結ぶ唯一の路線であり、生地・大布施・荻生の3地区を経由しています。
- 令和7年度の利用者数は、休日の利用者は増加しましたが、平日の利用者は減少したことから、令和6年度より減少しています。
- 令和7年度の一人当たりの収支は△813円で、令和6年度と比較すると収支が悪化しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	18,611	19,627	31,882	31,263	30,483
前年対比	119.3%	105.5%	162.4%	98.1%	97.5%
1日平均(人)	59.5	60.4	92.7	88.6	86.6
平日平均(人)	77.8	81.6	131.5	127.3	124.3
1便平均(人)	3.5	3.7	6.0	5.8	5.7
休日平均(人)	3.1	4.2	4.2	5.2	5.7
1便平均(人)	1.9	2.0	1.8	2.1	2.1
一人当収支(円)	△1,215	△1,158	△668	△775	△813

表 新幹線生地線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

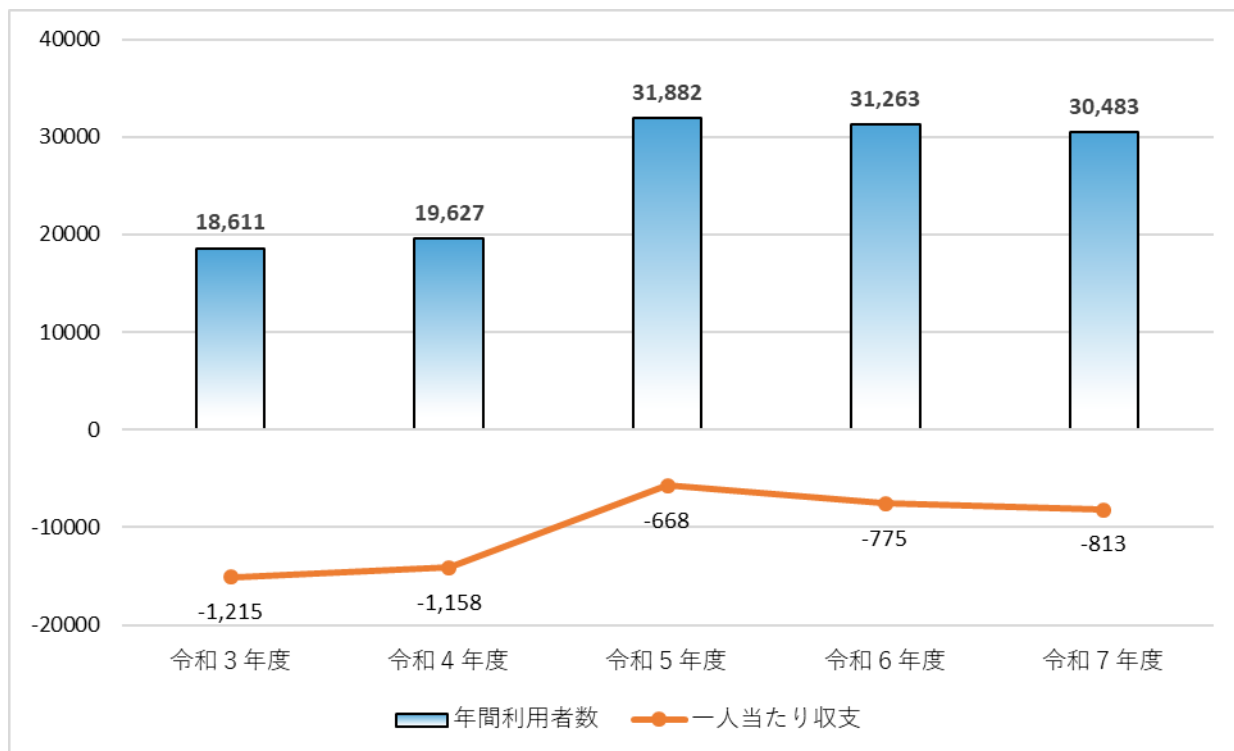


図 新幹線生地線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(6)【路線バス】 生地循環線の利用状況及び収支

○ 生地循環線の位置付け

- ・ あいの風とやま鉄道の生地駅と黒部駅の両駅を起終点とし、生地地区と中心市街地を結ぶ“生活路線”として運行しています。経路上にある2つの医院、中心市街地に位置する市民病院、電鉄黒部駅など、主に通院、通勤に利用されています。
- ・ 令和7年度の利用者数は、令和6年度と比較して横ばいとなっています。
- ・ 令和7年度の一人当たりの収支は△1,464 円で、令和6年度と比較すると収支が悪化しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	14,327	15,285	17,130	17,640	17,568
前年対比	96.4%	106.7%	112.1%	103.0%	99.6%
1日平均(人)	39.3	41.9	46.8	48.3	48.1
1便平均(人)	1.6	1.9	2.1	2.2	2.2
一人当収支(円)	△1,269	△1,433	△1,209	△1,123	△1,464

※1日平均の数値は年間利用者数を365日(閏年は366日)で割り返して算出しています。

表 生地循環線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

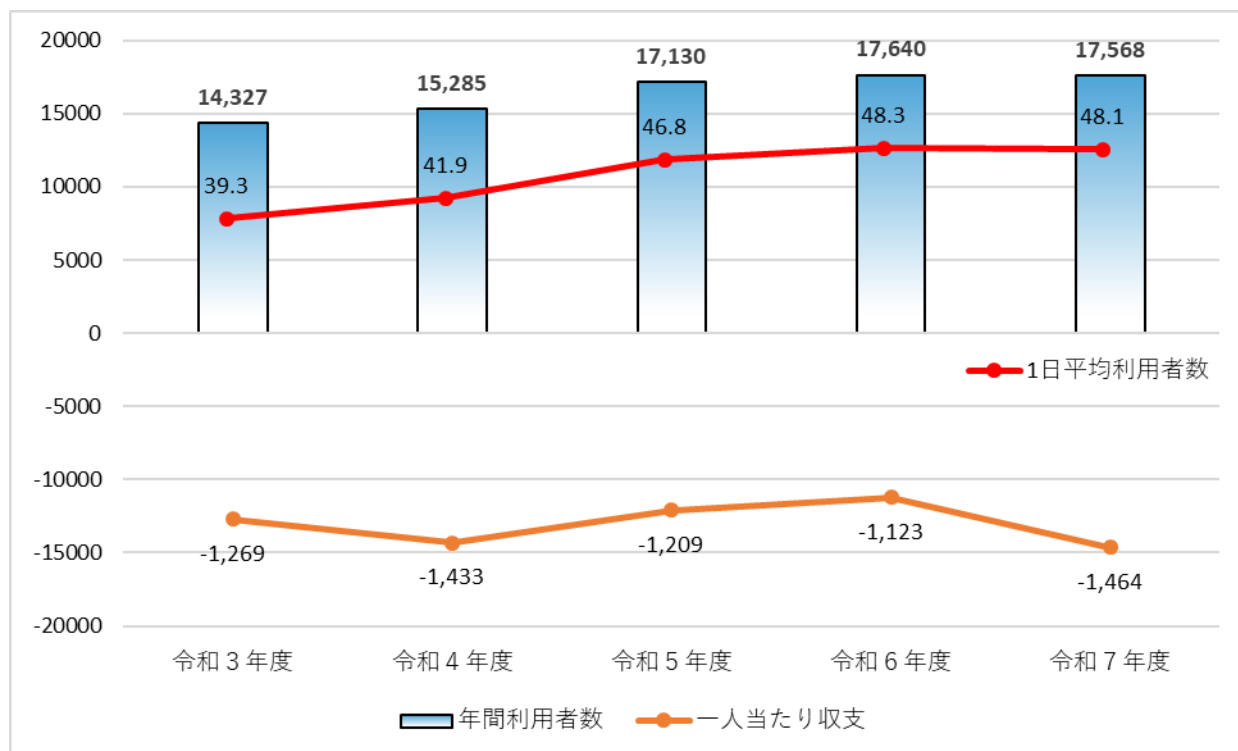


図 生地循環線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(7)【路線バス】石田三日市線の利用状況及び収支

○ 石田三日市線の位置付け

- ・ 石田地区と中心市街地を結ぶ“生活路線”として、石田地区を南北に分け、各エリアを運行しています。中心市街地に立地するあいの風とやま鉄道黒部駅、市民病院、商業施設など、通勤、通院、買い物利用が多く、近年では通学にも利用されています。
- ・ 令和7年度は「道の駅 KOKO くろべ」及びその周辺施設、「くろべ市民交流センターあおーよ」へのアクセス改善のためのルート変更を実施しましたが、利用者数は令和6年度と比較すると減少しております。
- ・ 令和7年度の一人当たりの収支は△1,747 円で、令和6年度と比較すると横ばいとなっております。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	7,094	8,268	7,231	7,395	7,160
前年対比	129.4%	116.5%	87.5%	102.3%	96.8%
1日平均(人)	29.2	34.0	29.6	30.2	29.3
1便平均(人)	1.3	1.5	1.3	1.4	1.3
一人当収支(円)	△1,006	△1,095	△1,389	△1,757	△1,747

表 石田三日市線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

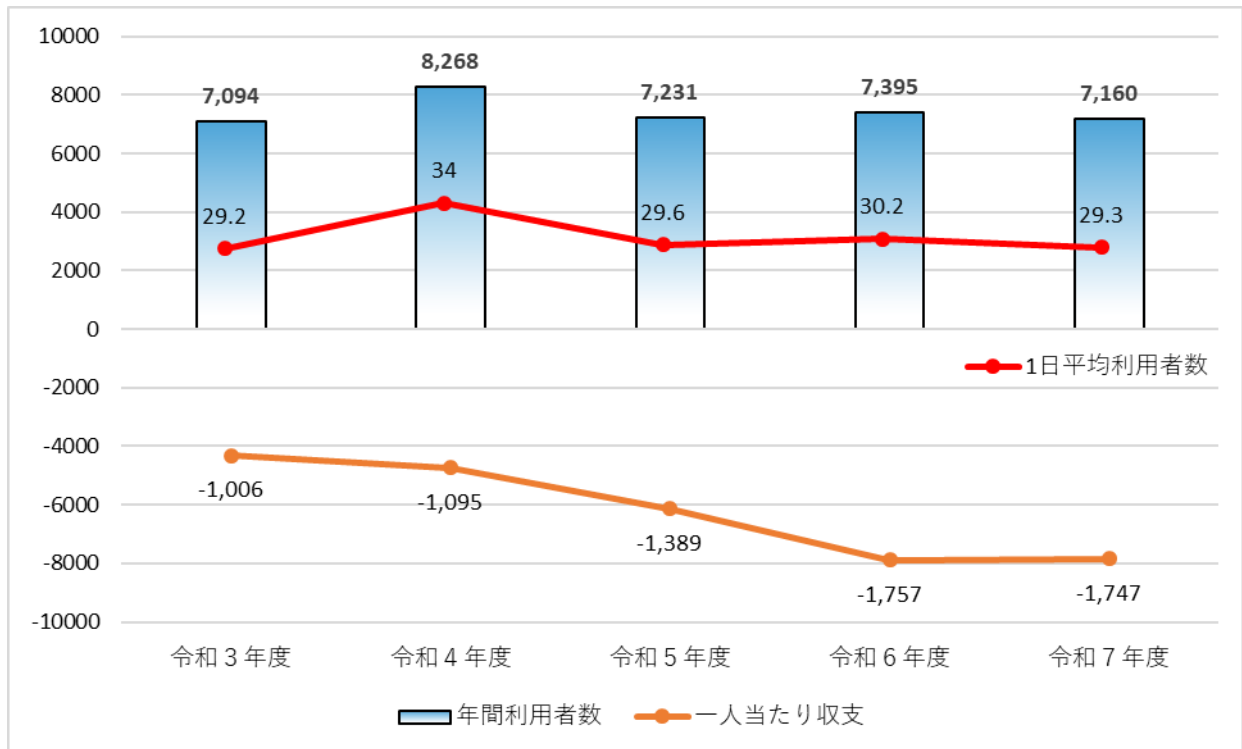


図 石田三日市線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(8)【路線バス】池尻線の利用状況及び収支

○ 池尻線の位置付け

- ・ 東布施地区と中心市街地を結ぶ“生活路線”として運行しています。同地区には、鉄道駅、病院、商業施設、金融機関がなく、地域にとって重要な公共交通機関となっています。運行経路は、地区を縦断する幹線道路に居住が集約しており、経路の設定やバス停の設置において効率化が図られる利点があります。
- ・ 令和 7 年度の利用者数は、令和 6 年度と比較して大きく減少しています。
- ・ 令和 7 年度の一人当たりの収支は△2,048 円で、福平への延伸などの影響もあり、令和 6 年度と比較すると収支が悪化しています。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者数(人)	9,069	7,809	9,081	8,053	7,245
前年対比	117.9%	86.1%	116.3%	88.7%	90.0%
1 日平均(人)	37.5	32.3	37.8	32.9	29.7
1 便平均(人)	3.1	3.2	3.2	2.7	2.5
一人当収支(円)	△1,287	△1,550	△1,301	△1,599	△2,048

表 池尻線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

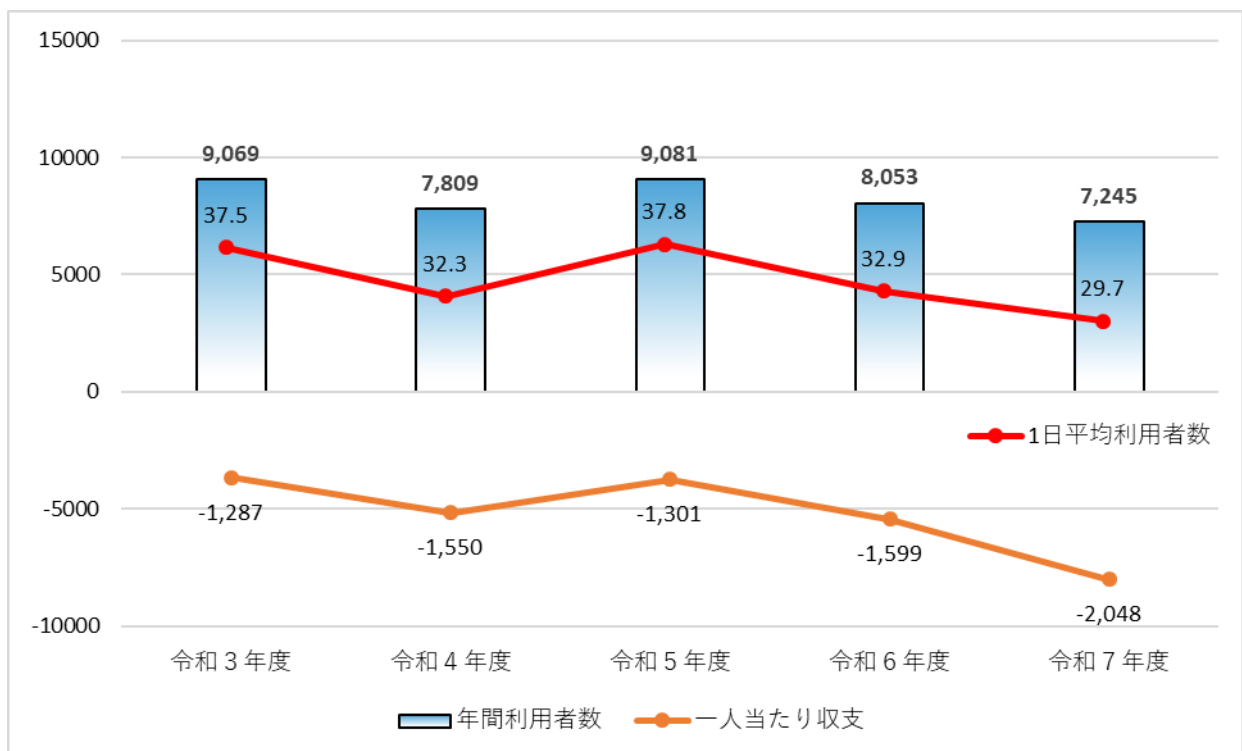


図 池尻線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(9)【路線バス】南北循環線の利用状況及び収支

○ 南北循環線の位置付け

- ・ 黒部駅と生地駅を起終点とし、朝夕は沿線上のYKK社員の居住エリアと工場群を効率的に結ぶ“通勤路線”として、また、日中は吉田科学館やYKKセンターパークなどの観光施設のほか、福祉センターや市民病院、商業施設を経由する“生活路線”としても利用される「官民共同路線」として位置付けられています。
- ・ 令和7年度の利用者数は、鉄道との接続に合わせたダイヤ改善やバス停の新設（I-TOWN）等を実施することで、令和6年度と比較して増加しています。
- ・ 令和7年度の一人当たりの収支は△269円で、令和6年度と比較すると収支が悪化しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	62,646	67,309	83,816	85,194	87,168
前年対比	109.6%	107.4%	124.5%	101.6%	102.3%
1日平均(人)	256.7	273.6	342.1	352.0	357.2
1便平均(人)	6.3	6.7	8.3	8.6	8.7
一人当収支(円)	△269	△314	△225	△231	△269

表 南北循環線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

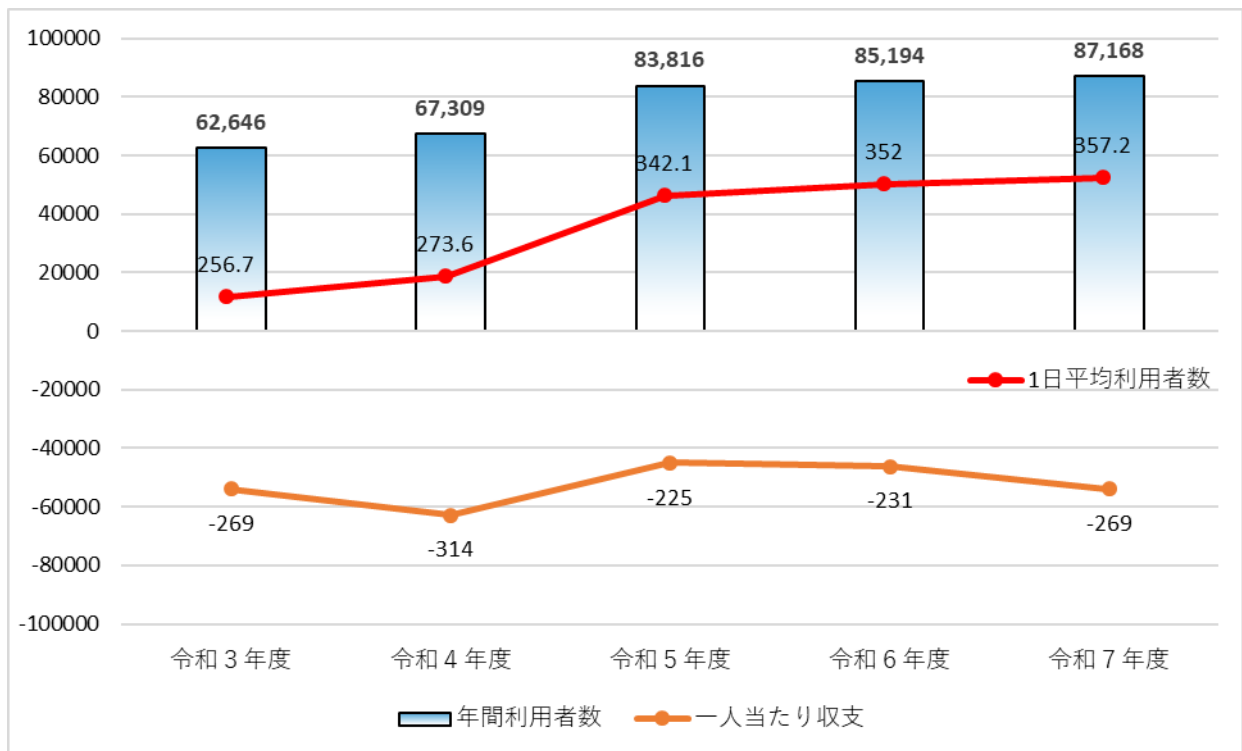


図 南北循環線 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(10)【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況及び収支

○ 愛本コミュニティタクシーの位置付け

- ・ 愛本地区と宇奈月地域内の商業施設、病院などを結ぶ“生活路線”として、「愛本本線」のほか、愛本新・明日・栗虫地区と愛本駅を結ぶ「連絡線」、「桧屋大橋循環線」など、複数の系統により運行しています。
- ・ 令和7年度の利用者数は、桧屋大橋循環線の利用が増えたことから令和6年度と比較して、増加しています（令和7年度は、定時運行路線として、内山・音沢連絡線を新設）。
- ・ 令和7年度の一人当たりの収支は△3,758 円で、令和6年度と比較すると収支が悪化しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	4,167	3,406	3,804	3,602	3,787
前年対比	98.0%	81.7%	111.7%	94.7%	105.1%
1日平均(人)	17.2	14.0	15.6	14.8	15.6
一人当収支(円)	△1,650	△2,512	△2,658	△3,041	△3,758

表 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

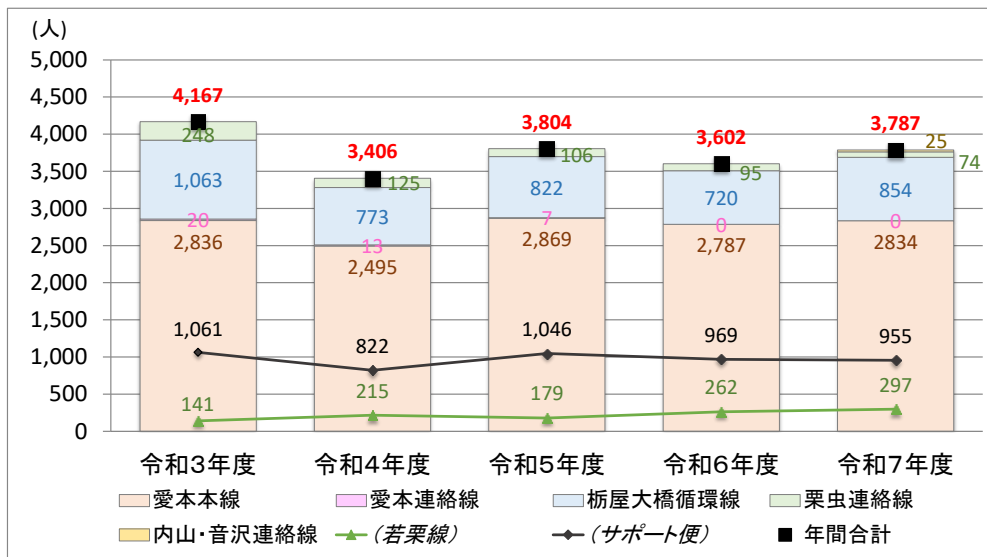


図 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

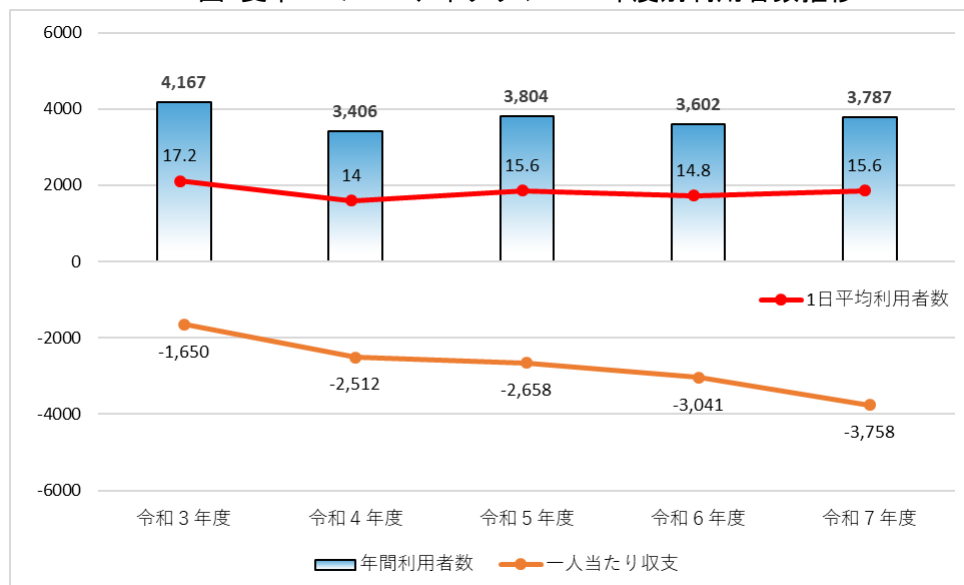


図 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(11)【コミュニティ交通】 デマンドタクシーの利用状況及び収支

○ デマンドタクシーの位置付け

- 田家野—中山エリア及び前沢—宮野エリア並びに村椿—大布施エリア及び荻生エリアと三日市エリアを結ぶ“生活路線”として、予約式乗合タクシー「デマンドタクシー」を運行しています。
- 令和7年度の利用者数は、村椿・大布施地区の利用が伸びており、令和6年度の比較して増加しています。
- 令和7年度の一人当たりの収支は△2,560円で、令和6年度と比較すると改善しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	2,896	2,574	2,019	1,956	2,144
前年対比	115.2%	88.9%	78.4%	96.9%	109.6%
1日平均(人)	10	8.8	7.0	6.1	7.0
一人当収支(円)	△2,119	△2,371	△2,798	△2,719	△2,560

表 デマンドタクシー 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

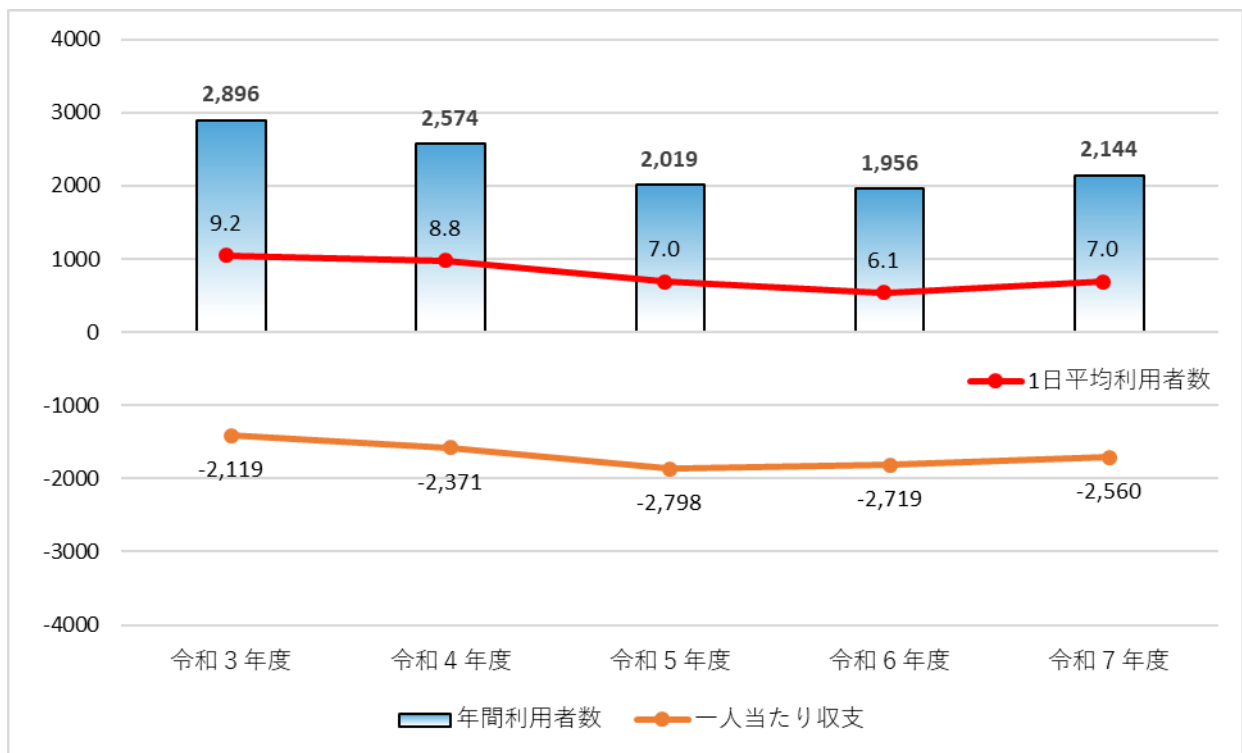


図 デマンドタクシー 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移

(12)【路線バス】電動ミニバスの利用状況及び収支

○ 電動ミニバスの位置付け

- ・ 中心市街地の病院等の公共施設や商業施設、駅などを結ぶ“生活路線”として、環境にやさしい電動車を活用した「電動ミニバス」を運行しています。
- ・ 令和7年度は1年間（運行日数：216日）を通じた運行で、利用者数はAルート（市民病院～北新・東三日市）が333人、Bルート（市民病院～大黒町・櫛町）が684人の合計1,017人となっています。
- ・ 電動ミニバスにおける令和7年度の一人当たりの収支は△10,454円です。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	—	—	—	—	1,017
Aルート	—	—	—	—	333
Bルート	—	—	—	—	684
前年対比	—	—	—	—	—
1日平均(人)	—	—	—	—	4.7
一人当収支(円)	—	—	—	—	△10,454

表 電動ミニバス 年度別利用者数及び一人当たり収支の推移